

「あまみエフエム ディ！ウェイヴ」放送原稿〈12月19日（金）放送分〉

テーマ「世界自然遺産③」

あまみエフエム ディ！ウェイヴをお聞きの皆様、おはようございます。鹿児島県立奄美図書館です。今日は、「世界自然遺産」シリーズの第3回目です。

シリーズ2回目では、「世界自然遺産」登録をめざしている奄美群島や琉球諸島についての説明や生息^{せいそく}している大変珍しい動植物について紹介しました。今回は、登録に向けての取り組みやスケジュールについてお伝えしていきます。

まずは、世界自然遺産地域になったらどうなるかということで、既に世界自然遺産に登録^{すで}されている屋久島^{しらかみさんち}や白神山地^{しれとこ}、知床^{おがさわらしよとう}、小笠原諸島についてお伝えします。4つの地域では、世界自然遺産としての価値を守り、管理・普及・啓発するために、人員や施設の充実が図られました。また、登録により知名度が高まるとともに、様々な変化も起こっています。例えば、世界自然遺産に関する研修や視察などの地域間交流の活性化が進んだり、学校や地域で環境学習や環境保全に関する行事が増えています。また、UターンやIターンによる人口の流^{りゅうにゆう}入もみられます。更に、観光産業を中心とした地域の活性化が進んでいます。一方、注目が高まると、観光客が増え、ゴミの増加やトイレの不足など自然環境に与えるダメージや、地域社会の急激な変化等が課題となってきています。このような変化に対して、すでに世界自然遺産に登録されている地域では、関係者間で協議を重ねながら、保全管理に取り組んでいます。

現在、国、県、市町村、奄美群島広域事務組合等は、奄美群島の世界自然遺産登録に向けて、様々な取り組みを行っています。いくつかを取り上げて紹介します。

一つ目は、「希少野生生物を守る」取り組みです。奄美大島では、島の生態系に大きな影響を与える外来種^{がいらいしゆ}のマンガースの根絶^{こんぜつ}を目指して、環境省野生生物保護センターが防除事業^{ぼうじよ}に取り組んでいます。平成17年度からは「奄美マンガースバスターズ」が結成され、捕獲^{ほかく}作業や島民への普及・啓発活動、新しい捕獲技術の調査研究などを行っています。また、

平成18年度に「奄美希少野生生物保護対策協議会」を設置し、アマミノクロウサギ等の交通事故防止対策などを協議しています。更に、サンゴや^{しょう}礁やウミガメを守るため、オニヒトデの^{くじよ}駆除やウミガメ保護監視員の配置も行っています。

二つ目の取組みは、「奄美の自然を学ぶ」ことです。鹿児島県環境林務部自然保護課は、教育用冊子「奄美群島の自然～生命あふれる島」や希少野生動植物の写真が掲載されている下敷きを奄美群島内の小・中学校に配布し、子どもたちの意識向上にも努めています。また、奄美群島の自然の価値や、世界自然遺産に登録された地域の取り組み事例などを島民はじめ広く県民にも知っていただくため、シンポジウムや公開講座を開催しています。

三つ目の取組みは、「奄美の自然を伝える」ことです。奄美群島広域事務組合では、奄美群島の地域資源を守り、適正な管理、地域振興への貢献を同時に実現するエコツーリズムを目指し、エコツアーガイドの人材を育てる講習会などを実施しています。

「奄美・琉球」の世界自然遺産登録へ向けたスケジュールについてお知らせします。2003年5月に、国の「世界自然遺産候補地に関する検討会」において、奄美群島を含む琉球諸島が世界自然遺産候補地の一つに選定され、2013年1月には、「奄美・琉球」が世界自然遺産の正式な候補地に決定されました。現在は、国立公園の指定など推薦準備作業に入っています。今後の予定としましては、ユネスコの世界遺産センターへ推薦書の提出、国際自然保護連合（IUCN）による現地調査、世界遺産委員会の審査を経て、世界遺産リストへ登録となる予定です。

奄美図書館の2階閲覧室にも「世界遺産」コーナーを設置しています。関連本や希少動植物のパネルなどが多数展示し、多くの皆様にPRを行い、応援したいと考えています。ぜひご覧ください。

職員一同、皆様のご来館を心からお待ちしております。以上、鹿児島県立奄美図書館でした。